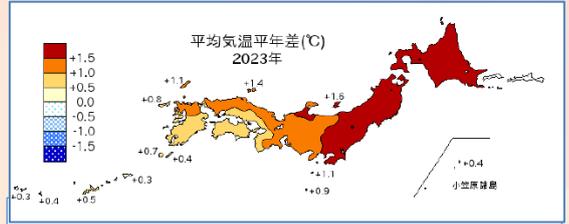




令和5年は 県内各地で

年平均気温が過去最高!

気象庁は、令和6年1月4日に、日本の天候の特徴をまとめた「2023年(令和5年)の日本の天候」を公表しました。令和5年は全国的に気温が高く、1946年の統計開始以降、北日本と東日本では年平均気温が1位の高温、西日本では1位タイの高温となりました。



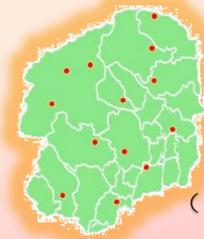
年平均気温と平年値との差(°C)を示した図 (気象庁発表 2023年(令和5年)の天候から)



栃木県でも、過去の観測結果と比較できる13の観測所※で、過去最高の年平均気温を記録しました。

※ 13の観測所

那須高原、五十里、黒磯、土呂部、大田原、奥日光、塩谷、那須烏山、鹿沼、宇都宮、真岡、佐野、小山



(・ 13の観測地点)

今年も暑い夏になるとの予報発表!

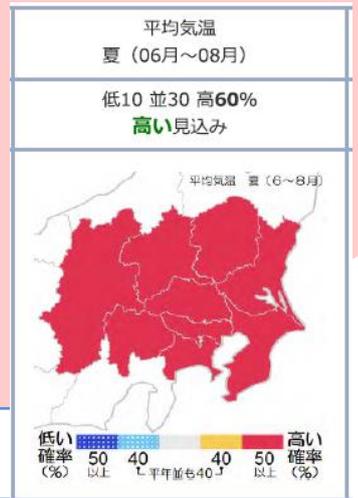
気象庁は、令和6年2月20日に、6月～8月(暖候期)の予報(今夏の長期予報)を発表しました。

全国的に平均気温が平年より高くなる見込みであり、高温をもたらす条件が重なった場合、観測史上最も暑くなった令和5年の夏並みになる可能性もあるということです。

また、この長期予報が発表された2月20日には、南から暖気が流れ込んだ影響で、太平洋側の各地で気温が上がりました。群馬県伊勢崎市では気温が25.4℃まで上昇し、関東地方で今年初となる夏日を観測しました。(夏日とは、最高気温が25℃以上の日)

関東で2月に夏日!

関東甲信地方では気温が平年より高くなる確率が50%以上であることを示した図(気象庁 暖候期予報から)



早めの暑熱対策で、厳しい暑さに備えましょう!

4～5月から暑くなってきたり、突然の真夏日になる可能性もあります。

熱中症予防のためには、体を暑さに順応させること(暑熱順化)が重要です。

実際に気温が上がる前に、軽い運動や湯船に浸かる入浴などをして、無理のない範囲で汗をかくことで、体温調節機能を高められます。

また、家の冷房を試運転しておくとお安心です。

本格的な夏になる前から早めの熱中症対策を心がけましょう。



栃木県気候変動適応センター【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



X (旧 Twitter)